

コミュニケーション遮断！

8月30日（水）

今日は朝から秋晴れの良い天気となりました。田んぼの稲穂も黄金色になっていますので、今週ぐらいから一斉に稲刈りが始まるのではないのでしょうか。本日は2時間目まで夏休み課題テストを行い、3時間目～5時間目までは体育大会練習を行いました。ブロックリーダーや係会の代表の頑張りに期待しています。話は変わりますが、最近マスクを着用している生徒が減っていることです。このマスクを着用する現象について、もちろん感染症対策はありますが、ある心理カウンセラーは「他者とのわずらわしいコミュニケーションをシャットアウトするのは、現代のトレンド。自分は何かに熱中しているし、あなたと関わりをもてる状況にないですよ、ということアピールできる。最近のヒット商品には、こうした『コミュニケーション遮断』をサポートする要因が含まれています。例えば、いつもスマホをいじることで、話しかけられずに済む。ヘッドフォンで耳を覆うことで、耳と気持ちをガードする。サングラスで目元を隠し、誰かわからない匿名性をキープする。それに加えて「伊達マスク」をすれば、頭の前からあごの下まで完全にガードが完成します。」と分析されています。マスクを着用し、他人とのコミュニケーションを遮断することに慣れてしまうと、つい引きこもりがちになったり、ちょっとした「マスク依存症」なったり「熱中症」で倒れてしまうと、警鐘を鳴らされています。また、ある番組では女子高校生がマスクをするベスト5として①寒さ対策、②落ち着く、安心する、③表情がごまかせる、④すっぴん隠し、⑤小顔・かわいく見える、が挙げられていました。また、マスクを着けた高校生と着けない高校生で、足し算、引き算を行ってみると着けていない生徒の点数が高くなりました。これについて、脳科学の専門家は「マスクを着けると呼吸がしづらくなり、それがストレスとなってスコアが伸びなかったのでは」と分析されていました。

